



その先の、道へ。北海道
Hokkaido. Expanding Horizons.

令和4年度（2022年度）
**北海道原子力防災訓練
実施結果報告書**

令和5年（2023年）3月

北海道・泊村・共和町・岩内町・神恵内村・
寿都町・蘭越町・二セコ町・倶知安町・
積丹町・古平町・仁木町・余市町・赤井川村

はじめに

北海道原子力防災訓練は、北海道防災会議が策定した「北海道地域防災計画（原子力防災計画編）」、泊村、共和町、岩内町、神恵内村で組織する泊発電所原子力防災会議協議会が策定した「泊発電所周辺地域原子力防災計画」及び寿都町、蘭越町、ニセコ町、倶知安町、積丹町、古平町、仁木町、余市町、赤井川村が策定した「地域防災計画（原子力防災計画編）」、「泊地域の緊急時対応（国、道及び関係町村の原子力災害対策を一体的に取りまとめたもの）」に基づき、住民避難訓練や災害対策本部の設置運営訓練などを組み合わせて総合的に実施する訓練（以下、「総合訓練」という。）や、要素ごとに実施する訓練（以下、「要素訓練」という。）により構成され、昭和63年度以降、毎年度実施している。

今年度の総合訓練は、令和4年（2022年）10月に、新型コロナウイルス感染症流行下における地震との複合災害を想定し、感染症対策を講じながら意思決定訓練と実動訓練を連動させて1日間の日程で実施した。意思決定訓練では、北海道原子力防災センター（オフサイトセンター）に国や道などの防災関係機関の要員が参集し、新型コロナウイルス感染症流行下での地震との複合災害時における防護措置の調整・確認を行った。実動訓練では、事態の推移に応じて、PAZとUPZの区分ごとの段階的な住民避難に加え、地震被害に伴い開設した感染症対策を講じた避難所での屋内退避、孤立地域を想定したヘリコプター・装甲車・巡視艇による救出救助を実施したほか、避難バス運転手の安全確保のための情報伝達、さらには避難退却時検査などの原子力災害医療活動に取り組んだ。

また、要素訓練では、地震発生から施設敷地緊急事態に至る場面を想定し、令和5年（2023年）2月にオフサイトセンター初動対応訓練を実施した。この他、毎月1回を基本に関係町村・関係機関に設置している「原子力防災ネットワーク専用回線」を使用した通信連絡訓練、緊急時環境放射線モニタリング訓練などを通じて防災業務関係者の技術向上に取り組んだ。

本報告書は、訓練の記録として取りまとめたほか、訓練終了後に関係機関等に行った事後調査等を基に得られた課題等を整理し、今後の訓練や防災対策に資するものである。



目 次

第1 総合訓練	
1 目 的	1
2 実施日時	1
3 主 催	1
4 場 所	1
5 対象施設	1
6 参加・協力機関	1
7 訓練想定	5
8 訓練内容	7
9 訓練イベント時刻	16
10 住民避難訓練整理表	18
11 訓練実施場所図	19
12 事前準備・結果報告等	20
第2 オフサイトセンター初動対応訓練（要素訓練）	
1 目 的	21
2 実施日時	21
3 主 催	21
4 場 所	21
5 対象施設	21
6 参加・協力機関	21
7 訓練想定	22
8 訓練内容	22
9 事前準備・結果報告等	23
第3 課題等整理表	
1 総合訓練	24
2 オフサイトセンター初動対応訓練（要素訓練）	33
第4 その他（要素訓練等）	
1 通信連絡訓練	36
2 原子力災害対策本部及びオフサイトセンター訓練（図上演習）	36
3 緊急時環境放射線モニタリング訓練	37
4 原子力災害医療研修会	37
5 その他研修	38
6 地域学習会	38
<参 考>	
■ 北海道原子力防災訓練の実施状況（平成24年度～令和4年度）	39
■ 訓練参加住民アンケート調査結果（総合訓練）	46
■ 令和4年度北海道原子力防災総合訓練リーフレット	50
■ 原子力災害に備えた屋内退避マニュアル	52
■ 緊急時における防護措置の概要	58

第1 総合訓練

1 目的

防災関係機関が協力して原子力防災対策を円滑に実施できるよう、関係機関の連携、防災業務関係者の防災技術の向上を図るとともに、地域住民の防災意識の高揚や、防災対策に関する理解促進を図る。

2 実施日時

令和4年(2022年)10月31日(月) 9:00 ~ 15:00

3 主催

北海道、泊村、共和町、岩内町、神恵内村、寿都町、蘭越町、二セコ町、倶知安町、積丹町、古平町、仁木町、余市町、赤井川村

4 場所 [実動訓練場所]

泊村、共和町、岩内町、神恵内村、寿都町、蘭越町、二セコ町、倶知安町、積丹町、古平町、仁木町、余市町、赤井川村、小樽市、留寿都村、札幌市、苫小牧市

5 対象施設

北海道電力(株) 泊発電所(3号機)

6 参加・協力機関

防災関係機関等 336機関(防災業務関係者 2,824人)

(1) 北海道警察 … <1>

(警察本部、札幌方面岩内警察署、札幌方面小樽警察署、札幌方面余市警察署、札幌方面倶知安警察署)

(2) 北海道教育委員会 … <1>

(北海道教育庁、後志教育局)

(3) 市町村 … <23>

札幌市、小樽市、島牧村、黒松内町、真狩村、留寿都村、喜茂別町、京極町、千歳市、北広島市、江別市、洞爺湖町、豊浦町、伊達市、室蘭市、苫小牧市、登別市、壮瞥町、白老町、むかわ町、安平町、厚真町、長万部町

(4) 消防機関 … <3>

岩内・寿都地方消防組合(消防本部、岩内消防署、泊支署、共和支署、神恵内支署、寿都支署)

北後志消防組合(消防本部、余市消防署、古平支署、積丹支署、仁木支署、赤井川支署)

羊蹄山ろく消防組合(消防本部、倶知安消防署、蘭越支署、二セコ支署)

(5) 関係省庁 … <2>

原子力規制庁(泊原子力規制事務所)、内閣府

- (6) 指定地方行政機関 … <6>
 総務省北海道総合通信局、経済産業省北海道経済産業局、国土交通省北海道開発局、国土交通省北海道運輸局、気象庁札幌管区气象台、海上保安庁第一管区海上保安本部
- (7) 自衛隊 … <3>
 陸上自衛隊北部方面隊、海上自衛隊大湊地方隊、航空自衛隊北部航空方面隊
- (8) 指定公共機関 … <1>
 北海道電力ネットワーク(株)
- (9) 指定地方公共機関 … <2>
 (一社)北海道薬剤師会、(一社)北海道バス協会
- (10) 公共的団体等 … <5>
 古宇郡漁業協同組合、東しゃこたん漁業協同組合、余市郡漁業協同組合、余市町農業協同組合、余市水産加工業協同組合
- (11) 協力企業等 … <14>
 北海道中央バス(株)、ニセコバス(株)、札幌第一観光バス(株)、札幌観光バス(株)、(株)じょうてつ、道南バス(株)、東芝ITサービス(株)、(株)日立パワーソリューションズ、(地独)北海道立総合研究機構、(公社)北海道国際交流・協力総合センター、GIBEON(株)、日本レイテック(株)、扶桑電通(株)、チュウケイ(株)
- (12) 原子力事業者 … <1>
 北海道電力(株)(本店、泊発電所)
- (13) 医療機関 … <8>
 北海道大学病院、札幌医科大学附属病院、旭川医科大学病院、伊達赤十字病院、北海道社会事業協会岩内病院、北海道社会事業協会余市病院、日本赤十字社北海道支部、(一社)北海道放射線技師会
- (14) 学校・幼稚園・児童福祉施設 … <87>
 【泊村】泊村立泊小学校、泊村立泊中学校、とまり保育所
 【共和町】共和町立南幼稚園、共和町立中央保育所、共和町立北幼稚園、共和町立へき地保育所、共和町立共和中学校
 【岩内町】高田幼稚園、岩内幼稚園、岩内町立岩内東小学校、岩内町立岩内西小学校、岩内町立岩内第一中学校、岩内町立岩内第二中学校、北海道岩内高等学校、岩内町東山保育所、岩内町中央保育所、岩内町西保育所、岩内厚生園、児童デイサービスチャレンジキッズどんぐり、ファミリーホームろっく、(特非)はなうた・はみんぐfunいわない
 【神恵内村】神恵内村立神恵内小学校、神恵内村立神恵内中学校、神恵内村立神恵内保育所
 【寿都町】寿都町立寿都小学校、寿都町立寿都中学校、北海道寿都高等学校
 【蘭越町】蘭越ひばり幼稚園、蘭越町立蘭越小学校、蘭越町立昆布小学校、蘭越町立蘭越中学校、北海道蘭越高等学校、蘭越保育所、北海愛星学園、昆布保育所
 【ニセコ町】ニセコ町幼児センター、ニセコ町立ニセコ小学校、ニセコ町立近藤小学校、ニセコ町立ニセコ中学校、ニセコ町立北海道ニセコ高等学校、北海道インターナショナルスクールニセコ校
 【倶知安町】倶知安幼稚園、倶知安藤幼稚園、倶知安めぐみ幼稚園、倶知安町立倶知安小学校、倶知安町立西小学校、倶知安町立北陽小学校、倶知安町立東小学校、倶知安町立倶知安中学校、北海道倶知安高等学校、北海道倶知安農業高校、なかよし子供館、児童チャレンジサポートさやえんどう、羊蹄山ろく発達支援センター

- 【積丹町】 積丹町立美国小学校、積丹町立日司小学校、積丹町立野塚小学校、積丹町立余別小学校、積丹町立美国中学校、積丹町立びくに保育所、みなと保育所
- 【古平町】 古平町立古平小学校、古平町立古平中学校、認定こども園ふるびら幼児センターみらい、児童デイ多機能型事業所ひまわりくらぶ
- 【仁木町】 仁木町立銀山小学校、仁木町立仁木小学校、仁木町立銀山中学校、仁木町立仁木中学校、
- 【余市町】 余市町立登小学校、余市町立黒川小学校、余市町立大川小学校、余市町立沢町小学校、余市町立東中学校、余市町立旭中学校、余市町立西中学校、北海道余市養護学校、北海道余市紅志高等学校、北後志母子通園センター、余市町立中央保育所、余市町立大川保育所、(福)徳風会ほうりゅうじ保育園、サポートセンターたね
- 【赤井川村】 赤井川小学校、都小学校、赤井川中学校

(15) 病院・社会福祉施設 … <131>

- 【泊村】 泊村養護老人ホームむつみ荘、泊村特別養護老人ホームむつみ荘
- 【共和町】 地域活動支援センター前田の家、共和町いきいきセンター、共和町特別養護老人ホームみのりの里共和
- 【岩内町】 (医) 岩内大浜医院、岩内あけぼの学園、ベーカリーサンライズ、介護老人福祉施設岩内ふれ愛の郷、介護老人保健施設コミュニティホーム岩内、岩内町デイサービスセンター、グループホーム「そよかぜ」岩内、介護付有料老人ホーム七福神恵比寿館
- 【神恵内村】 神恵内村高齢者グループホーム「かもめの家」、介護老人保健施設神恵内ハイツ998、神恵内村老人福祉寮「生き生きホーム998」、神恵内村高齢者共同生活支援施設「友遊館」
- 【寿都町】 寿都浄恩学園
- 【蘭越町】 (医) 静和会昆布温泉病院、特別養護老人ホーム一灯園、高齢者グループホームらんこし、高齢者生活福祉センターこんぶ、高齢者生活福祉センターめな
- 【ニセコ町】 (医) ニセコ医院、(特非) ニセコ生活の家、特別養護老人ホームニセコハイツ、(福)ニセコ福祉会ニセコ町デイサービスセンター、(福)ニセコ福祉会ニセコ町グループホームきら里
- 【倶知安町】 障がい者就労支援施設羊蹄セルブ、人と人をつなぐ陽だまり、グループホームそら、グループホームかぜ、グループホームゆめ、福祉ホーム羊蹄、共同生活援助事業あゆ〜む、障がい者就労支援事業所ワークショップようてい、グループホームよろこび、グループホームえがお、グループホームここに、グループホームしずく、夢のたくみ、くら〜す、北斗、のぞみ、まどか、JA北海道厚生連倶知安厚生病院、羊蹄ハイツ、デイサービスセンター羊蹄ハイツ、介護老人保健施設麓華苑、グループホーム羊蹄、グループホームつくしんぼ、認知症対応型共同生活介護縁、認知症対応型共同生活介護絆、デイサービスろっかえん、倶知安町老人デイサービスセンター
- 【積丹町】 積丹町立国民健康保険診療所、エイジングステーションやすらぎ、地域密着型特別養護老人ホームゆうり
- 【古平町】 共働の家、ルピナスの家、白かば寮、きぼう寮、よつば寮、はぎの家、みずき寮、ほうの木寮、から松寮、さつき寮、はばたき寮、若者宿、かえで寮、かしわ寮、すみれ寮、あじさい寮、つつじ寮、あざみ寮、地域生活総合支援センターいこいの家、藤の木寮、くぬぎ寮、あかしあ、みくすベジタ、つどい、ぱれっと、つむぎ、はまよん寮、はま2寮、第2はま2寮、さわえ寮、さわえ2寮、しんち寮、さかた寮、はまさん寮、いましろ寮、はちの巣寮、夕凧、朝凧、ほほえみくらす、いきいき生活支援センター風花、きょうどう、セルフケア、古平町高齢者生活支援センター元気プラザ、古平町デイサービスセンター、高齢者支援ハウス、古平町立診療所海のまちクリニック
- 【仁木町】 (福)後志報恩会銀山学園、(福)後志報恩会大江学園、(福)後志報恩会陽だまり、あんごの森「銀山」、回復の森「銀山」、(福)仁木福祉会仁木長寿園
- 【余市町】 余市幸住学園、余市豊浜学園、どりーむ・わーくす、あおぞら、フルーツ・シャトーよいち、

養護老人ホームかるな和順、(特非)ロータス会、グループホーム夢、サービス付高齢者住宅ふる一つの郷、サービス付高齢者住宅ぬくもりの郷、小規模多機能型居宅介護事業所ほっとハウスよいち、介護医療院なかじま、中島内科、デイサービスひかり、でいさあーびす笑、デイサービスセンターかがやき、有料老人ホームみどり、有料老人ホーム恵泉虹乃家、デイサービス花ごころ

【赤井川村】グループホームあまらんす、グループホームあまらんす2号館

(16) その他 … <34>

【泊村】泊村社会福祉協議会、泊村商工会

【共和町】共和町農業開発センター、共和町学校給食センター、共和町社会福祉協議会、共和町商工会、ワイス温泉

【岩内町】岩内地域人材開発センター、(株)いわない高原ホテル、いわない温泉高島旅館、いわない温泉おかえりなさい、ホテルいのう、岩内マリンホテル、ホテルENVY、ホテルENVY(新館)、ベイホテルいわない、岩内町老人福祉センター、働く婦人の家、岩内商工会議所

【神恵内村】民宿きのえ荘、旅館恵比須屋

【古平町】古平町商工会、日本海ふるびら温泉しおかげ、(福)古平町社会福祉協議会、(福)古平町福祉会

【仁木町】仁木町観光協会

【余市町】エーヴランドホテル、余市商工会議所

【赤井川村】(株)New KRH

【札幌市】シャトレゼガトーキングダムサッポロ

【小樽市】オーセントホテル小樽

【黒松内町】(福)黒松内つくし園本部、湯の里・黒松内

【留寿都村】ルスツリゾート

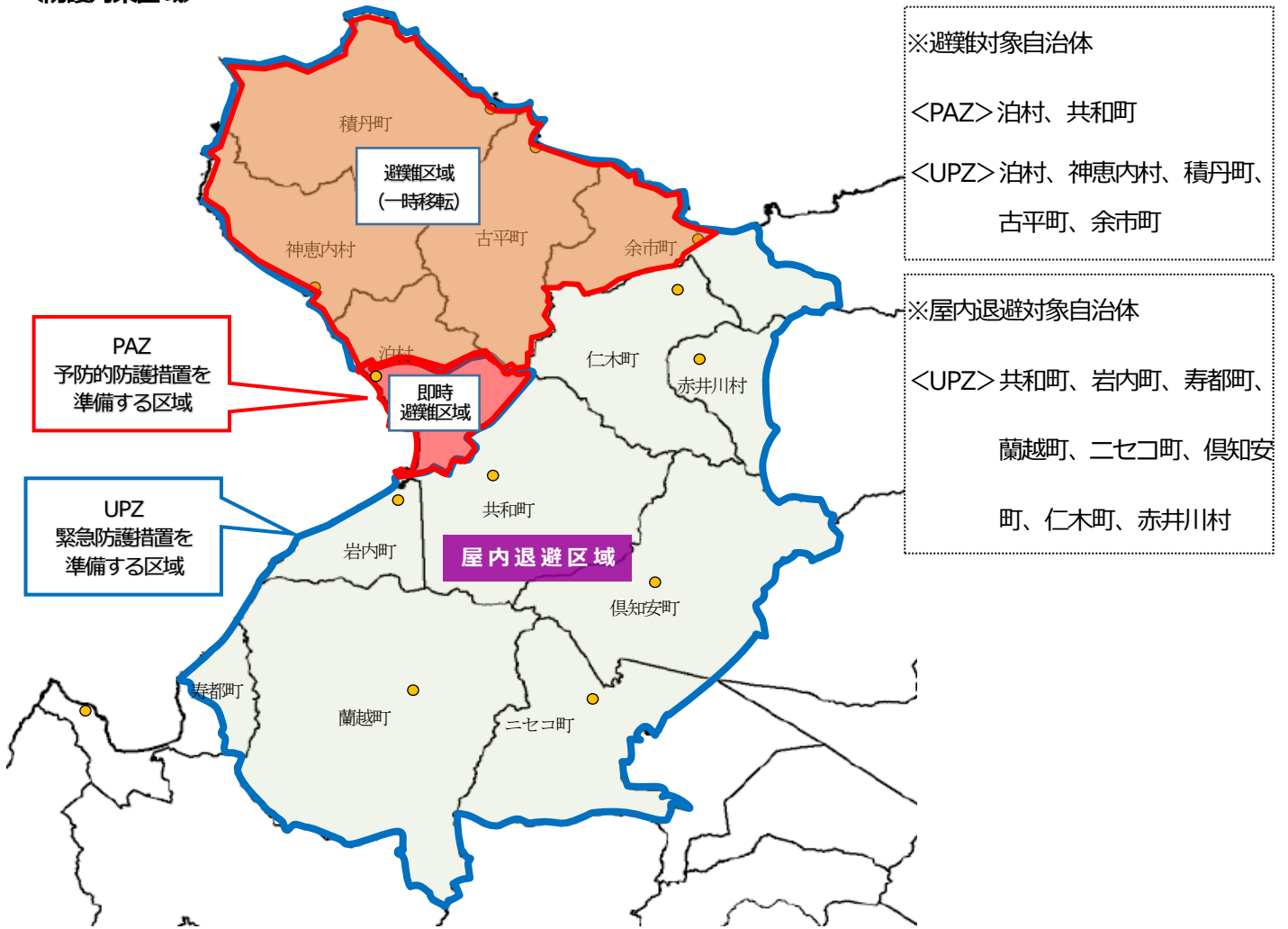
7 訓練想定

新型コロナウイルス感染症流行下において、後志地方西部を震源とする最大震度6強の地震が発生。地震後、北海道電力(株)泊発電所3号機において、原子炉の一次冷却材が漏えいし、原子炉が停止。複数の設備故障等により、原子炉の冷却が不能となり原子力災害に至る。

時刻	事態	事故	要請・指示	対象自治体
4:00	地震発生→警戒事態発生通報 EAL(AL)〔警戒事態〕	最大震度6強 (泊村：震度6弱)	連絡体制の確立	関係13町村
4:10		泊発電所3号機の定格熱出力一定運転中に、一次冷却材漏えいの確認。(1・2号機は停止中)		
4:30	EAL(AL)〔警戒事態〕 警戒事態発生通報	一次冷却材の漏えい量が増加し、原子炉自動停止。その後、加圧器水位低下により非常用炉心冷却設備が作動。	PAZ要避難者の避難準備	PAZ(泊村・共和町)
6:15	EAL(SE)〔施設敷地緊急事態〕 原災法第10条事象の発生通報	設備故障等により、非常用炉心冷却設備による原子炉への注水が一部不能。	PAZ要避難者の避難 PAZ住民の避難準備 UPZ住民の屋内退避準備 ※避難は避難経路等の安全を確認の上、実施することとし、それまでの間は、屋内退避を継続	PAZ(泊村・共和町) UPZ(関係13町村)
※想定				
9:00 訓練開始				
9:05	※道路啓開情報の受理		PAZ要避難者の避難開始	PAZ(泊村・共和町)
9:20	EAL(GE)〔全面緊急事態〕 原災法第15条事象の発生通報 →原子力緊急事態宣言発出	さらなる設備故障により、非常用炉心冷却設備による原子炉への注水不能。	PAZ住民の避難 UPZ住民の屋内退避	PAZ(泊村・共和町) UPZ(関係13町村)
10:30時点で時間を2日間スキップ(放射性物質放出からOIL2超過区域の特定まで) 〈この間に放射性物質の放出・収束、余震発生〉				
11:00			UPZ一部区域(OIL2超過区域)住民の一時移転	UPZ(泊村、神恵内村、積丹町、古平町、余市町)
12:30	事故収束(格納容器へのスプレイの開始)の連絡	代替設備により格納容器スプレイに成功し、事態収束の方向		
15:00 訓練終了				

*原子力発電所では、事故発生に備え、何重もの安全装置が設置されています。訓練においては、事故の進展想定に沿って、これら安全装置が故障等により正常に作動しない事態を想定しました。

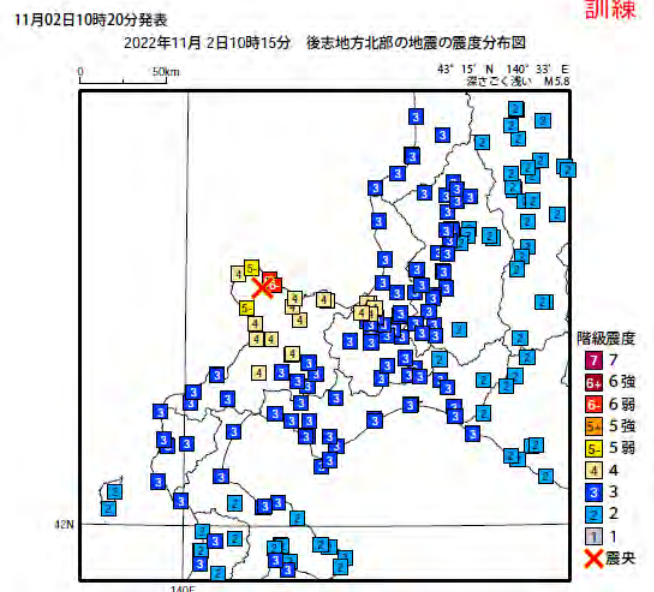
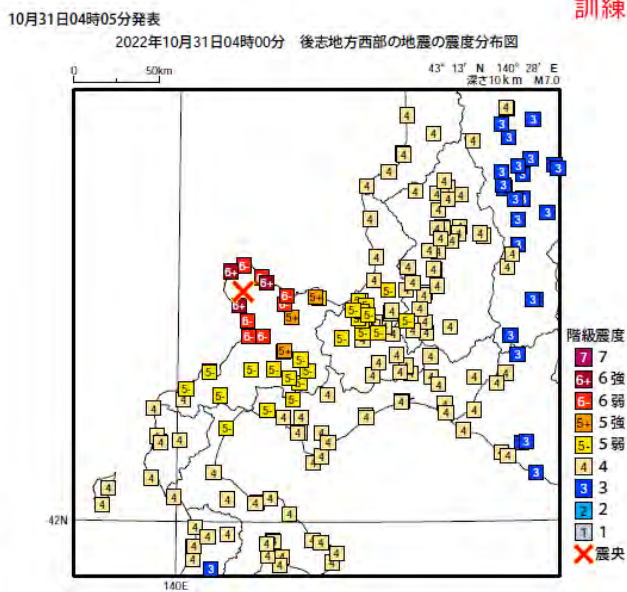
<防護対策区域>



<地震想定>

(1) 2022年10月31日4時00分の地震

(2) 2022年11月2日10時15分の地震



8 訓練内容

(1) 重点活動項目

次に掲げる事項を重点活動項目として、災害対策本部の設置運営訓練及び住民避難訓練などの要素訓練を組み合わせた総合訓練を実施した。

<重点活動項目>

- ◆緊急事態応急対策等拠点施設（OFC）運営訓練
 - ・各機能班を設置し、事故の状況や防災関係機関の対応状況の収集・整理
 - ・スクリーン表示するなど各機能班相互の情報共有
 - ・新型コロナウイルス感染症流行下での地震との複合災害時における防護措置に係る防災関係機関との対応の調整
- ◆住民避難訓練
 - ・バス避難のための集合場所の開設、バス避難における感染症対策の実施
 - ・感染症対策を講じた避難所の開設・運営
 - ・多様な手段による孤立地区等の住民避難
- ◆緊急時環境放射線モニタリング訓練
 - ・緊急時モニタリングセンター（EMC）を拠点としたモニタリングの統括、関係機関との連携
 - ・緊急時モニタリング実施内容の検討（実施計画案の修正）、指示及び情報伝達
 - ・空間放射線量率の測定、環境試料の採取・分析
- ◆原子力災害医療活動訓練
 - ・安定ヨウ素剤の緊急配布
 - ・避難圏域時検査場所の開設・運営

(2) 各要素訓練

訓練項目ごとに主要活動項目を設定し、その活動に必要な対応動作や手順の確認を行った。

ア 災害対策本部等設置運営訓練

道及び関係13町村は、災害対策本部を設置し、事態の推移に応じて本部員会議やTV会議を開催し、本部内や防災関係機関と情報共有を図った。

機 関	主 要 活 動 項 目
北 海 道 北海道教育委員会 北海道警察本部	<本庁> <input type="checkbox"/> 道災害対策本部の設置・運営（指揮室） <input type="checkbox"/> 道本部員会議の開催（3階テレビ会議室） <input type="checkbox"/> TV会議〔道庁－OFC－関係13町村〕による情報共有と対策の確認 <input type="checkbox"/> 住民避難用バスの手配等に係る連絡調整 <OFC> <input type="checkbox"/> 道現地災害対策本部を設置・運営 <input type="checkbox"/> 住民避難用バスの手配等に係る連絡調整
関 係 1 3 町 村	<input type="checkbox"/> 各町村災害対策本部の設置・運営 <input type="checkbox"/> TV会議〔道庁－OFC－関係13町村〕による情報共有と対策の確認 <input type="checkbox"/> 住民避難用バスの手配等に係る連絡調整
原 子 力 事 業 者	<input type="checkbox"/> 本店及び泊発電所にて原子力災害対策本部の設置・運営

＜道災害対策本部員会議（OFC等とTV会議）＞



＜道災害対策本部（指揮室での共有）＞



＜災害対策本部員会議（泊村）＞



＜災害対策本部員会議（共和町）＞



＜災害対策本部員会議（神恵内村）＞



＜災害対策本部員会議（積丹町）＞



＜災害対策本部員会議（古平町）＞



＜災害対策本部員会議（余市町）＞



イ 緊急事態応急対策等拠点施設（OFC）運営訓練

OFCに、国、道、関係13町村及び防災関係機関から、あらかじめ定められた要員（29機関135名）が参集し、各機能班を設置するなどして、事故の状況や防災関係機関の対応状況を把握しながら必要な情報共有を図り、新型コロナウイルス感染症流行下での地震との複合災害時における防護措置の調整・確認を行った。

機 関	主 要 活 動 項 目
内 閣 府 原子力規制庁 泊原子力規制事務所 北 海 道 関 係 1 3 町 村 防 災 関 係 機 関 原 子 力 事 業 者	<input type="checkbox"/> 各機能班を設置し、事故の状況や防災関係機関の対応状況の収集・整理 <input type="checkbox"/> スクリーン表示するなど各機能班相互の情報共有 <input type="checkbox"/> 新型コロナウイルス感染症流行下での地震との複合災害時における防護措置に係る防災関係機関との対応の調整 <input type="checkbox"/> 事態の推移に応じた防護措置の作成・取りまとめ <input type="checkbox"/> 原子力災害合同対策協議会の開催 <input type="checkbox"/> TV会議【道庁-OFC-関係13町村】による情報共有と対策の確認 <input type="checkbox"/> ヘリコプター・道路カメラからの映像伝送による情報収集

<原子力災害合同対策協議会>



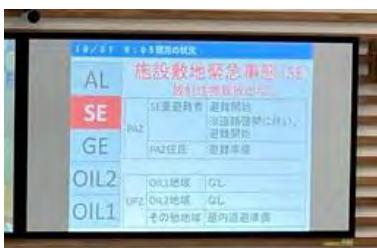
<住民避難経路の調整>



<機能班による活動状況>



<スクリーン表示による情報共有>



<班長会議による情報共有>



<映像伝送による避難経路等の共有>



※OFCにおける感染症対策については、次のとおり実施。

- ・入館時に体調確認を行い、37.5℃以上の発熱者や体調不良者は訓練不参加。
- ・要員等は、マスクを着用して活動。
- ・各機能班等にアクリル板を設置するとともに、手指消毒液を設置。

ウ 緊急時通信連絡訓練

各種通信手段を用いた事故状況や対応状況等に関する防災関係機関相互の通報連絡及び関係機関への情報伝達を実施した。

機 関	主 要 活 動 項 目
全 機 関	<input type="checkbox"/> 電話及びFAX（一般回線及び専用回線）、防災行政無線を用いた防災関係機関相互の通報連絡 <input type="checkbox"/> 避難先自治体等への事故状況の伝達や避難受入要請

<関係機関への連絡>



はまなす幼児センター（共和町）

<関係機関への連絡>



古平町

エ 緊急時環境放射線モニタリング訓練

国の統括のもと、OFC内に緊急時モニタリングセンター（EMC）を設置し、国、道、関係13町村、原子力事業者、関係指定公共機関と連携して、緊急時における環境放射線のモニタリング活動を行った。

機 関	主 要 活 動 項 目
原 子 力 規 制 庁 北 海 道 関 係 1 3 町 村 原 子 力 事 業 者 関 係 指 定 公 共 機 関	<input type="checkbox"/> EMCを拠点としたモニタリングの統括、関係機関との連携 <input type="checkbox"/> 緊急時モニタリング実施内容の検討（実施計画案の修正）、指示及び情報伝達 <input type="checkbox"/> 緊急時モニタリング実施計画に基づく空間放射線量率の測定、環境試料の採取・分析（測定153地点・2ルート） <input type="checkbox"/> 放射線モニタリング情報共有システム等によるモニタリング情報の収集、整理、確認及び報告 <input type="checkbox"/> OFC放射線班等への緊急時モニタリング結果の提供及び情報共有 <input type="checkbox"/> 緊急時モニタリング要員の被ばく管理

<EMCの活動>



OFC

<環境試料の前処理>



OFC

<屋外活動要員の汚染検査>



OFC

オ 広報訓練

関係13町村の住民等に対し、防災行政無線や広報車等による広報のほか、緊急速報メールやホームページ、Twitterによる多言語での情報発信など多様な手段を活用した広報を実施した。

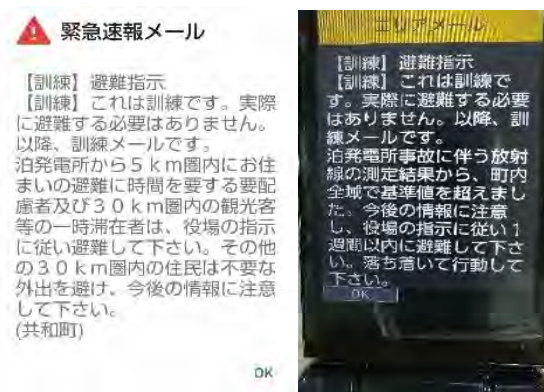
機 関	主 要 活 動 項 目
北 海 道 関 係 1 3 町 村 防 災 関 係 機 関	<input type="checkbox"/> 防災行政無線や広報車などによる住民広報 <input type="checkbox"/> 電話及びFAX（一般回線）等を用い、関係13町村の要配慮者施設（医療機関・社会福祉施設等）や宿泊施設に対する情報伝達 <input type="checkbox"/> 緊急速報メールを活用した、多言語による避難指示等の配信 <input type="checkbox"/> 道ホームページ・Twitterを利用した多言語による情報発信

<広報車による住民広報>

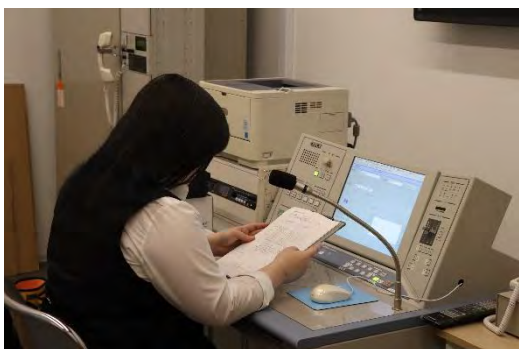


共和町

<緊急速報メール>



<防災行政無線による住民広報>



古平町

<Twitter発信>



カ 住民避難訓練

原子力災害対策指針に定められた防護措置の判断基準（EAL、OIL）を基本として、防災関係機関と連携しながら、各町村の避難指針に基づき、住民等の安全確保を優先して屋内避難や避難等の防護措置を段階的に実施した。

機 関	主 要 活 動 項 目
北海道 関係13町村 防災関係機関 避難受入自治体	<input type="checkbox"/> バス避難のための集合場所の開設（レイアウト図の掲示） <input type="checkbox"/> バス等を利用した避難手順確認（バス避難における感染症対策の実施） <input type="checkbox"/> 要配慮者（児童や社会福祉施設入所者など）の屋内退避・避難 <input type="checkbox"/> 放射線防護施設における屋内退避・出入管理 <input type="checkbox"/> 避難受入自治体の協力による一時滞在場所の設置・運営 <input type="checkbox"/> 感染症対策を講じた避難所の開設 （地震により自宅での屋内退避が困難となった場合の避難所開設、外国人への多言語による情報伝達） <input type="checkbox"/> 陸路・海路・空路を用いた孤立地域等の避難 <input type="checkbox"/> 避難経路の変更に伴う警察官による緊急迂回誘導（ブラインド方式により実施） <input type="checkbox"/> 民間事業者（バス運転手）の防護対策（車両動態管理及び情報伝達） <input type="checkbox"/> 新型コロナウイルス感染疑い者の受付・搬送・隔離

※外国人対応訓練（相談対応、情報提供）

- ・災害時外国人支援センターの開設（北海道国際交流・協力総合センター（HIECC））
- ・観光客サポートステーションの開設（経済部観光局）

●参加者数 8,338 人（住民避難 314 人、屋内退避 8,024 人）

【避難指示区域】

※（ ）内は屋内退避者

区分	町村名	避難者数	避難方法
PAZ	泊村	125 (-)	バス7台、普通車両2台、福祉車両1台
	共和町	22 (244)	バス2台、普通車両1台、福祉車両1台
UPZ	神恵内村	8 (224)	バス1台
	積丹町	31 (252)	バス2台、巡視艇1艇
	古平町	17 (812)	バス3台、自衛隊ヘリコプター1機
	余市町	67 (326)	バス3台、自衛隊装甲車1台
合計		270 (1,858)	バス18台、福祉車両2台、普通車両3台、自衛隊装甲車1台、自衛隊ヘリコプター1機、巡視艇1艇

【その他区域】

町村名	避難者数	避難方法
UPZ町村合計	44 (6,166)	寿都町、倶知安町は独自訓練として避難等を実施（バス4台）

＜バス集合場所の受付（積丹町）＞



積丹町総合文化センター

＜バスによる避難（神恵内村）＞



神恵内村役場

＜在宅要配慮者の防護施設への屋内退避＞



共和町保健福祉センター

＜学校内での屋内退避＞



共和中学校

＜一時滞在場所の受付＞



ガトーキングダムサッポロ

＜感染症対策を講じた避難所運営＞



余市町福祉センター

＜外国人への多言語による情報伝達＞



余市町福祉センター

＜自衛隊 ヘリコプターによる救助＞



古平町ほほえみくらす（発）



余市運動公園（着）

＜自衛隊 装甲車による避難＞

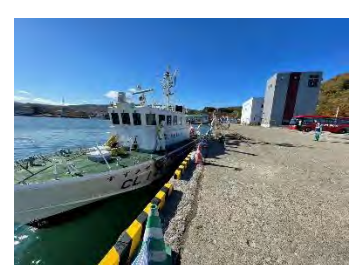


余市豊兵学園

＜第一管区海上保安本部 巡視艇による救助＞



美国港（発）



余市港（着）

＜バス運転手への防護対策等の説明＞



北後志消防組合 余市消防署

＜警察による迂回路への緊急誘導＞



避難経路（古平町～小樽市）

＜新型コロナウイルス感染疑い者の隔離＞



共和町保健福祉センター

キ 原子力災害医療活動訓練

関係医療機関等と連携して原子力災害時における医療活動を行った。

機 関	主 要 活 動 項 目
北 海 道 関 係 町 村 関 係 医 療 機 関 防 災 関 係 機 関 原 子 力 事 業 者	<input type="checkbox"/> 安定ヨウ素剤の緊急配布 <input type="checkbox"/> 避難退域時検査場所を開設し、避難車両や避難住民の放射生物質付着検査、簡易除染【余市農道離着陸場、勝納埠頭荷さばき地】 <input type="checkbox"/> 医療機関への患者搬送（発電所内被ばく傷病者）と受入施設での医療措置

＜安定ヨウ素剤の緊急配布＞



共和町



余市町総合体育館

＜避難車両の検査（ゲート型モニタ）＞



余市農道離着陸場

＜避難車両の検査（サーベイメータ）＞



余市農道離着陸場



勝納埠頭荷さばき地



余市農道離着陸場

＜避難車両の除染＞



勝納埠頭荷さばき地

＜避難住民の検査＞



余市農道離着陸場

＜避難住民の除染＞



余市農道離着陸場

＜原子力災害医療協力機関での被ばく傷病者受入れ＞



岩内協会病院



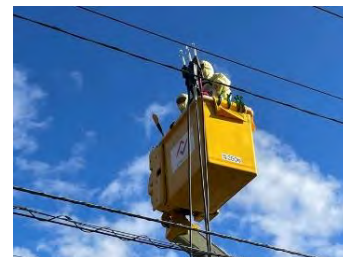
岩内町新港東ふ頭

ク 電力供給訓練

停電発生を想定した発電機車による電力供給訓練を実施した。

機 関	主 要 活 動 項 目
北 海 道 関 係 町 村 防 災 関 係 機 関 原 子 力 事 業 者	□停電発生を想定した発電機車による電力供給 【神恵内村漁村センター】

<停電地域への緊急的な電力供給>



ケ その他

(事故拡大防止訓練)

泊発電所において、使用済燃料ピット(SFP)で冷却水の大規模漏えいが発生した場合に備え、可搬型大型送水ポンプ車および可搬型スプレインズリによる屋外からSFPへの放水を行った。

(住民研修会)

原子力防災対策に係る知識の普及啓発を図るため、原子力防災に関する住民研修会を開催した。

<可搬型スプレインズリによる放水>



北海道電力(株) 泊発電所

<泊村の住民研修会>



ガトーキングダムサッポロ